

山形市放課後子どもプラン運営委員会 会議録

- 1 日時 令和6年2月16日(金) 14:00～
- 2 会場 食糧会館4階会議室
- 3 議題
 - 報告事項
 - (1) 令和5年度放課後子どもプランの概要について
 - (2) 令和5年度放課後子どもプランの実施状況について
 - 協議事項
 - (1) 令和6年度山形市放課後子どもプランの実施計画について
- 4 出席者

大曾根小学校	校長	土井 正路
山形市児童健全育成クラブ連絡会	副会長	日野 崇雄
中央公民館	館長	秋葉 春男
大曾根小学校 地域学校協働活動推進員		寒河江 郁子
こども未来部	部長	奥山 泰子
教育委員会	教育企画課長	西村 尚人
コーディネーター		渋谷 健一
- 5 傍聴者 0人
- 6 審議経過
 - 報告事項について
質問等なし

 - 協議事項について
(委員) 令和6年度から大曾根小放課後子ども教室の参加対象を1～6年生にするのはなぜか。
(事務局) 平成20年度の開催時よりの児童を対象として実施していた。令和2年度から新型コロナウイルス感染症の予防・対策のために人数を制限していた。5類感染症となったため、異学年の交流を大事にしたいという本来の在り方に戻していきたい。
(委員) 放課後児童クラブの支援の単位も増え、運営委員会の責任能力が課題になっている。予算等の運営の内容について理解している委員が少なくなっている。今後どのような運営委員会にしていくのか、そろそろ転換期になっている。ご配慮いただきたい。
(事務局) 運営委員会にはかなりの重責を担っていただいていると認識している。うまく進めている他市の状況等を調査し、運営委員会の在り方について検討していく。例えば運営委員会を法人化したという事例がある。様々な方の意見を聞きながら進めていきたい。
(委員) 条例基準に適合していない放課後児童クラブはどのくらいあるのか。
(事務局) 10程度である。

- (委員) 放課後児童クラブでも人材の確保が課題になっていると聞いている。
- (委員) 市から補助を受け就職ガイダンスを開催する予定である。指導員の確保は喫緊の課題となっている。市の協力を得て進めていきたい。
- (委員) 各学校及び地域で「地域主体型放課後子ども教室」を進めるのは難しいのではないか。
- (事務局) 市内にすでに進めている事例がある。学校運営協議会において、地域において子どもたちにどのような学びが必要なのか十分に検討し、必要な内容の放課後子ども教室を実施していただきたいと考えている。様々な課題が予想されるが、一緒に解決しながら進めていきたい。
- (委員) 大曾根小放課後子ども教室では今年度から月1回程度の体験を行っているが、子どもたちが楽しく学んでおり、保護者からも良い評価をいただいている。また、放課後子ども教室でもスタッフの確保が一番の課題になっている。公民館やコミュニティセンターに募集案内を掲示したり、広報誌で知らせたりしてもらっているが、なかなか新しいスタッフが入らない。
- (事務局) 引き続き周知していく。今年度の行政主体型放課後子ども教室では中学生や高校生、大学生がボランティアとして参加した。地域学校協働活動については山形大学と連携もしている。学生の参画が有効な方法の一つになるのではないかと考えている。
- (委員) 放課後児童クラブと学校が情報共有を共有するなど、これまで以上の連携が必要であると感じている。
- (委員) プライバシーに関する事など、情報を共有するためには様々な問題があり、保護者の理解が必要である。放課後児童クラブが個別に対応するのではなく、市が一律的な方針を示さないと難しいのではないか。
- (委員) 発達障がいをもつ児童が増えており、放課後児童クラブの支援において子どもの学校での様子などの情報が必要だと感じている。個人情報のことなど、たしかに様々な問題があり難しいかもしれないが学校と放課後児童クラブで子どもの情報を共有したい。市から学校に提案してもらえるとありがたい。
- (事務局) 保育育成課と教育委員会が連携して進めていかなければならないと思っている。令和4年度に小学校に対して連携について通知しているが、改めて周知をしていきたい。プライバシーの問題に関しては保護者の了解を得ないと難しい。今後も確認したうえで進めていきたい。
- (委員) 12月に示された「放課後児童対策パッケージ」において、全ての子どもが放課後を安全・安心に過ごすための強化策として特別な配慮を必要とする児童への対応について示されている。放課後児童クラブには障がいをもった子どもやいじめ、虐待を受けた子どもが来所している。専門機関を通じて高いレベルの情報共有をとるなどの対策もある。改正児童福祉法で児童発達支援センターが明確に位置付けられ、医療と福祉ではなく一体的に進められており、連携強化を進めていくことが示されているので、その仕組みを考えていかなければならないと思っている。

※「5 協議事項（1）令和6年度山形市放課後子どもプランの実施計画について」は全委員より承認を得た。